

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和4年6月13日

大分県知事 広瀬勝貞 殿



提出者

住所 大分県宇佐市大字上田1030番地の1
氏名 宇佐市長 是永修治
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0978-27-8189



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	四日市・駅川浄化センター
事業場の所在地	大分県宇佐市大字芝原162番地
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

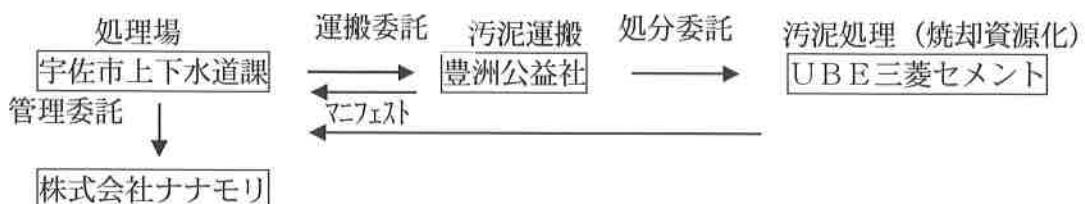
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	市町村機関【9821】
②事業の規模	処理区域面積 4,838,720m ²
③従業員数	5人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥処分業務委託

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排 出 量	1233.96 t	t
(これまでに実施した取組)			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排 出 量	1,200 t	t
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	――
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	――

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

		【前年度（ 年度）実績】	
①現状		産業廃棄物の種類	—
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量		— t	— t
(これまでに実施した取組)		—	
		【目標】	
②計画		産業廃棄物の種類	—
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量		— t	— t
(今後実施する予定の取組)		—	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

		【前年度（ 年度）実績】	
①現状		産業廃棄物の種類	—
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量		— t	— t
自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量		— t	— t
(これまでに実施した取組)		—	
		【目標】	
②計画		産業廃棄物の種類	—
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		— t	— t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		— t	— t
(今後実施する予定の取組)		—	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全処理委託量	1233.96 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1233.96 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
(これまでに実施した取組)			

【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥
② 計画	全処理委託量	1,200 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t
	再生利用業者への 処理委託量	1,200 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t
(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄		